

# 国政でも市政でも、住民が主人公の政治へ 今年もがんばります!!

茨木  
日本共産党

## 市政報告

第489号  
(発行)  
日本共産党  
茨木市議会議員団  
茨木市駅前3-2-5  
両泉ビル2F

ご意見・ご要望は  
電話&FAX  
(621) 8534



# 謹賀新年



新年あけましておめでとうござい  
ます。昨年末は、突然の解散総  
選挙が行われるなか、日本共産党  
への大きなお力添えをいただき、  
まことにありがとうございました。  
おかげで、日本共産党は8議席  
から21議席へと大きく前進させて  
いただき、参議院につづいて衆議  
院でも「議案提案権」を獲得する  
ことができました。  
安倍暴走政治と維新政治に真正  
面から対決し、対案を掲げ、共同  
を広げてきた日本共産党へ寄せら  
れたみなさんの信頼と期待に応え  
るため、公約の実現に全力をあげ  
るとともに、暴走政治とたたかう  
一点共同をさらに発展させるため  
に力をつくす決意です。

さて、茨木市政では、維新市長  
のもと、これからの茨木市の10年  
間のまちづくりの指針となる「第  
5次総合計画」が策定され、今後  
多数の大規模プロジェクトへの巨  
額の税金投入と、その財源を生み  
出すための市民サービス削減・市  
民の願い抑え込みをはかる姿勢が  
露骨に現れています。  
こうした中にあっても日本共産  
党市議団は、昨年、みなさんと力  
を合わせて、市内二次救急医療体  
制充実のための補助金創設、妊婦  
健康診査助成拡充、国保加入者の  
特定健診無料化、全中学校特別教  
室へのエアコン設置などを実現で  
きました。  
今年は、4月に統一地方選(茨  
木市では府議会選挙)が予定され、  
大阪都構想をはじめとする維新政  
治との全面対決が大きな争点とな  
ります。ひきつづき一点共同の運  
動をすすめるとともに「日本共産  
党の前進で維新退場」を訴えてが  
んばります。  
また市政では国保・介護保険料  
の引き下げ、待機児童解消、駅前  
周辺などのバリアフリー化、安威  
川流域の治水対策強化などの公約  
実現に全力をあげます。  
本年もどうかよろしくお願いい  
たします。  
二〇一五年 元旦  
日本共産党茨木市議会議員団

## 12月定例市議会報告

### 「受益者負担」ふりまわす「使用料見直し」は撤回せよ

今議会では、多くの公の施設使用料「見直し」議案が出されました。

市の「見直し」の考え方は、①利用と負担の公平性の確保」を図るとして、「施設を利用する人と利用しない人が納得できるように、明確で統一的な算定基準をもうける」とする「受益者負担の原則」、②「コミュニティセンター、公民館、いのち・愛・ゆめセンターの『地域集会所施設』において統一化を図る」とする「3施設同列論」というものです。

日本共産党は、憲法や地方自治法では、「使用料の徴収」について、極めて限定的、慎重さを求めていることから、受益者負担の「原則」は何の根拠もなく、地方自治体の存在意義を自ら投げ捨てる自殺行為であり、墮落であると厳しく指摘しました。

また、「3施設同列論」についても各施設の歴史・目的・役割を無視した暴論であり、公民館については憲法、教育基本法、

社会教育法が、「生涯学習の理念」と「教育の機会均等」を求めていることを明らかにし、公民館の使用料について、これまでの「低廉の原則」を堅持することを求めました。さらに、いのち・愛・ゆめセンター(隣保館)については、同和の特別法が終了したものと、歴史的役割を終えた施設として、廃止・コミュニティ化すべきであると主張しました。

公民館使用料については、新日本婦人会茨木支部より「公民館使用料の引き上げ中止を求める」団体請願が提出され、意見陳述では、社会教育法の目的に沿った小規模活動の役割について切々と訴えられました。が、それには全く反論できず、最終本会議では、維新・自民・公明・民主・市民フォーラムは、請願「不採択」、春日、東奈良公民館のコミュニティセンター化を含む使用料「見直し」の各条例「改正」を強行しました。

### 市政の方向を誤る「総合計画」は再考せよ

今議会では、今後10年の長期計画であり、市の最上位計画である「総合計画(第5次)基本構想」が議案として提出されました。

日本共産党は、総合計画策定に求められているものは、「公共の福祉の増進」こそが自治体の最大の使命であることに鑑み、大規模プロジェクトの見直し、社会保障重視、維持・管理、身近な街づくり重視への方向転換こそが目指すべき方向であると主張しました。

ところが、今回の総合計画では、これまでの10年間にわたる真剣な総括がないばかりか、「これからのまちづくりは、自己決定自己責任のもと、新たな魅力や活力の創出に

つながる施策を展開していくことが求められています」と、社会保障の需要が増大しても支出は抑制し、引き続き「大規模プロジェクト最優先」でいくという、開き直りの誤った「現状認識」と方向性を展開しています。そのため、なりふり構わず市民サービスの切り捨てや市民負担増にまい進するための「財政計画」を策定するという反市民的で冷酷な計画となっています。

日本共産党は、その根本的な誤りを指摘し、市民いじめの「財政計画」についても削除を主張しましたが、維新・自民・公明・民主・市民フォーラムは、一顧だにせず強行しました。

### JR新幹線基地の茨木市域での井戸掘削問題は摂津市と連携を

9月議会に続き、JR新幹線基地の井戸掘削問題について、摂津市が環境保全協定に基づきJR東海を提訴するもと、12月議会でも委員会質疑で取り上げました。市長は「茨木市で掘るんですから、(府や)JR東海に対して言えることもできると考えています」と答弁。その後、市として、JR東海に対して、丁寧な住民説明を求めていく動きとなっています。



市会議員

## 朝田みづる

電話(027)0176

### 立命館大の市民開放施設大ホール利用は機会均等を

立命館大の市民開放施設は国6億円、市24億円、大学32億円の負担で建設されました。しかし、ホールの学生予約7ヶ月前、市民予約6ヶ月前では学生利用だけで満杯になるおそれがあります。今後の利用状況を見極めた上で市民利用の機会均等が図られるよう大学と協議すべきと求めました。市は「施設のホールは現市民会館の代わる施設となることもあり市民が利用しやすい形で協議していきたい」と答弁しました。



市会議員

## 畑中たけし

電話090(8447)2610

### 子どもが主人公の教育施策充実を

4月から学校給食費が値上げされます。憲法で教育は無償であると明記されていることから、憲法に基づく制度改善を求めました。昨年は学校給食法が制定されて60年目、教育委員会にその成り立ちを学び直してほしいと要望しました。

また、教員の労働時間の把握について、校長が命じた時間だけでなく、きちんとした実態把握に努めるよう求めました。突然の教員の休職は、自習でやり過ごすのではなく、

教育委員会として子どもの学が権利の保障という観点での教員不足解消策を求めました。



市会議員

## 大嶺さやか

電話090(2105)0635



### 市民会館は閉館ではなく、

#### 耐震化と市民的議論を尽くせ

15年末に市民会館を閉館するための条例が提案され、日本共産党は「まず耐震化を行ない、建替えについてはじっくり時間をかけて市民も含めた議論を尽くすべき」と訴えました。

閉館の理由は、耐震診断で倒壊の恐れがあるという結果が出ていること、市民の多様な要望に答えられないという2点です。耐震診断は03年に行われており、この10年もの間「倒壊

の恐れ」がありながら建替えの議論のみに終始し、耐震化もせず市民の安全を無視し続けた市政運営をただめめた。また建替えのためには「音楽専用のホール」を望む市民の声を、複合的なホールしか作れないと切り捨てています。あらためて、市民無視の市政運営について改善を求めました。

### 市民からの請願4件はいずれも不採択

12月議会には市民から公民館請願、子育て請願2件、請願の部分採択(趣旨採択や項目別採択)を求めた請願が提出され、日本共産党はすべてに賛成しましたが、自・公・維などの議員の反対多数で不採択となりました。

憲法第16条の請願権(基本的人権)を尊重せよとくに請願の部分採択を求める請願は、この間、茨木市議会が請願については

全部採択 or 不採択方式にこだわり、「趣旨には賛成だが」「賛成できる個別項目もあるが」と言い訳して市民無視を続けてきた態度に、市民から「それならば部分採択方式を取り入れてほしい」と請願したものです。日本共産党は、「議会として市民の願いは最大限尊重すべき」として採択するよう訴えましたが、賛成した議員は、日本共産党を含めて6名でした。

### 安威川流域の堆積土砂除去を早期に!

豪雨による安威川水位上昇は堆積土砂による可能性が大

昨年8月の豪雨時には安威川千歳橋地点で氾濫危険水位をこえる4・29メートルを記録しました。水位上昇と堆積土砂の因果関係について党議員団が市にただしたところ、茨木市は「少なからず因果関係はあるのではないかなという風に思う」と答弁しました。

### 堆積土砂除去の早期実施と予算増額を

府による今年度の堆積土砂除去の実施予定箇所は本川・支川あわせて4箇所、未実施箇所は2箇所です。府土木事務所にも早期実施を求めるとともに、茨木市も積極的な行動をと求めました。

また、大阪府の14年度の安威川ダム本体工事等の予算は約50億円ですが、府管理の全河川の堆積土砂除去予算はわずか9・7億円と桁が違います。せめて水位観測点の堆積土砂は毎年、除去するようあらためて求めました。



### 定例市政法律相談のお知らせ

毎月第一、第三金曜日開催

1月16日(金)  
2月6日(金)  
2月20日(金)

場所・時間はいずれも

福祉文化会館101号、午後6:30から

※ 専門の弁護士のアドバイスを受けながら種々相談に応じます。必ず事前にご予約下さい。

党議員団控室 621-8534

あるいは、党市会議員に直接ご連絡を